

○ 旭小学校

- ・ 職員自己評価の結果と分析について
- ・ 保護者、児童アンケートの結果と分析について
- ・ 学校関係者評価について

平成29年度
学 校 評 価
—結果分析と改善に向けて—



平成29年3月
美幌町立旭小学校



— 目 次 —

- I 職員自己評価の結果と分析について
- II 保護者・児童アンケートの結果と分析について
- III 学校関係者評価について

I 職員自己評価の結果と分析について

(1) 教育課程の編成と実施に関すること

領 域		評価項目	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
○学校の教育目標	1	○学校の教育目標を児童に理解させ、児童もめあてをもって取り組ませる。	2.8	2.7	2.4	2.8	2.7	2.6
	2	○学校の教育目標と関連させた学級目標を設定し、学校の教育目標実現に努める。	3.1	2.8	2.9	2.8	3	2.8
○学習指導	3	○各教科の指導計画に基づいて指導を行う。	3.4	3.1	3.1	3.1	2.9	2.7
	4	○指導方法の工夫を日常的に取り組む。問題解決的学習 体験学習 地域素材活用・IT 等)	3.4	2.9	3.1	3.0	2.6	2.7
	5	○教材 教具の有効活用を図る。	3.2	3.1	2.8	3.1	2.7	2.9
	6	○教育施設、設備や外部講師を計画的に活用する。	3.4	3.1	3.3	3.2	2.8	2.8
	7	○基礎的 基本的事項の習得に努める。	3.3	3.0	3.2	3.1	3.1	3
	8	○学ぶことの楽しさを味あわせる授業を展開する。	3.0	2.7	2.8	2.7	2.7	2.6
	9	○指導と評価の一体化を図る。	2.9	2.7	3.0	2.8	2.7	2.6
○道徳指導	10	○指導計画に基づき「道徳の時間」を進める。	3.0	3.1	3.1	3.1	2.5	2.7
	11	○道徳的実践意欲を高めることを目指して、あらゆる機会を通して指導する。	3.0	2.8	3.1	3.0	2.6	2.8
	12	○家庭や地域と連携した指導を目指し、道徳の授業を進める。	2.7	2.8	2.8	3.1	2.5	2.4
○学級活動	13	○児童の実態に応じた計画的な学級活動を展開する。	3.1	2.9	2.9	3.0	3.1	2.9
○児童会活動	14	○児童会活動が自発的、自治的に進められるよう指導し、学校生活を充実させる。	3.0	2.8	2.8	2.9	2.8	2.8
○クラブ活動	15	○児童の興味や関心を生かした活動を展開する。	3.3	3.0	3.0	3.1	3	3
○総合的な学習の時間	16	○生きる力を育成するための総合的な学習の時間の指導 評価を適切に行う。	3.3	3.1	3.0	3.1	2.8	2.7
○授業時数	17	○各教科 道徳 特別活動 総合的な学習の時間の授業時数は適切に確保する。	3.7	3.5	3.6	3.4	3.1	3.4
○生活指導	18	○いろいろなきまりが守られ、落ち着いた態度で生できるようにさせる。	3.1	2.8	2.8	2.6	2.6	2.6
	19	○共感的理解を基にして、個に応じた指導や支援を進める。	3.2	2.9	3.0	3.1	3.1	2.9
	20	○問題行動や生徒指導上の課題 各学級の問題について、共通理解を図り全職員で指導にあたる。	3.4	3.3	3.0	2.8	3	2.5
	21	○家庭との連携を大切にして、協力しあいながら生活指導を進める。	3.4	3.2	3.1	3.2	3.1	2.9
○学校行事	22	○学校の教育目標や経営方針との関連を図りながら学校行事を実施する。	3.3	3.1	3.2	3.1	2.9	2.8
	23	○学校行事の実施に当たっては、学校や地域の実態児童の願いが生かされる、よう配慮する。	3.3	3.1	3.1	3.0	2.7	2.6
○健康 安全	24	○児童が意欲的に体力づくりに取り組むように配慮している。	3.3	2.9	2.9	2.8	2.7	2.7
	25	○年間計画に基づいて、健康安全の日常化 習慣化に取り組む。	3.2	2.9	2.9	2.9	2.7	2.8
	26	○給食時のマナーや偏食指導を適切に行う。	3.3	3.1	3.2	3.0	2.8	2.8

② 教育課程の編成と実施を支える諸条件に関すること

領 域		評価項目	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
〇経営方針	27	〇経営方針を明確にして、共通理解を図っていく。	3.2	3.0	2.9	3.1	2.7	2.8
〇校務分掌	28	〇業務の円滑な遂行を目指し、校務分掌の構造を適切にする。	3.4	3.1	3.1	2.9	2.8	3
	29	〇業務の円滑な遂行を目指し、校務分掌の業務内容を適切にする。	3.2	3.0	3.0	3.0	2.8	3
	30	〇業務の遂行にあたって、職員相互の協力 連携を図る。	3.4	3.3	3.3	3.2	2.8	3
〇学級経営	31	〇学級における人間関係を重視し、児童一人ひとりを理解しながら経営を進める。	3.5	3.1	3.2	3.1	3	2.9
	32	〇教室の環境が、学習 生活の場になさわしい設営を行う。	3.3	2.9	3.1	3.1	2.7	2.7
〇職員会議	33	〇職員会議の運営や資料の提供を適切に行う。	3.5	3.4	3.3	3.1	2.6	2.8
〇研 修	34	〇校内研修活動を組織的・計画的に進める。	3.5	2.9	2.9	3.2	2.5	2.9
	35	〇各種研究会 研修会へ積極的に参加する。	3.1	3.0	3.0	3.0	2.5	2.8
〇備品 施設 設備	36	〇校舎内外のきれいに清掃する。	2.9	2.7	2.7	2.9	2.7	2.4
	37	〇花壇 教材園 ハウスの管理を適切に行う。	3.0	3.0	3.2	2.8	2.7	2.8
	38	〇備品 教材等の後始末を正しく行う。	3.1	2.9	3.1	2.7	2.4	2.7
〇事務処理	39	〇事務用品 機器を適切に扱い、無駄なく活用する。	3.3	3.4	3.1	3.1	3	3.1
	40	〇事務処理を適切に行う。	3.5	3.6	3.5	3.5	3.1	3.4
〇家庭 地域との連携	41	〇各種通信や行事等を通して、保護者や地域との連携を図る。	3.3	3.3	3.1	3.1	3	3.1
	42	〇PTA活動や地域活動に積極的に参加して、協力して活動する。	3.0	3.1	2.9	2.8	2.5	2.8

2. 職員評価（自己評価）の分析

（1）教育課程の編成と実施に関すること

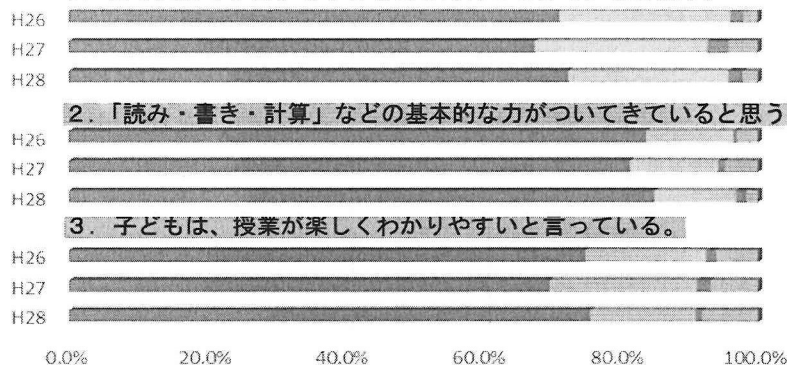
- ①学校の教育目標：教育目標に基づき、学級の実態にあった学級目標を設定し、その実現に組織を挙げて取り組んだ。「進んで学習する子ども」については、研修とリンクさせ、授業づくりを通して、その育成に努めた。
- ②学習指導：各教科とも指導計画にそって指導事項を定着する取組みが行われている。学習規律の定着のための月ごとの重点目標を設定し、振り返りを行う等、全校統一して取り組んだ。指導方法については、「わかる授業づくり」を実現させるために、研修時間を中心として充実させた。また公開研究会を開催し、多くの視点で研究を推進できたことも成果である。I p a dや学級に配置された実物投影機、デジタル教科書などI C Tの活用など、指導効果を高めることを積極的に今後も進めていきたい。
- ③道徳指導：副読本や「私たちの道徳」を基にした指導を主として、「思いやりのある子ども」の育成に取り組んできた。参観日を通じ、全学級での道徳の授業を公開し、家庭や地域への理解を深めてきた。30年度から始まる「特別の教科 道徳」に関しても、29年度中に指導法・評価法など整備していく。
- ④学級活動：児童の実態に応じた指導が進められてきた。今後も自主的、実践的な態度や健全な生活態度の育成・充実を図っていく。
- ⑤児童会活動：自発的・自治的な活動が行えるよう、今後も指導する事が大切である。
- ⑥総合的な学習の時間：J A青年部や博物館・図書館など関係機関と連携した活動が教育課程の中に位置づけられて、探求的な学習の充実が図られている。学年の発達段階を踏まえ、さらなる指導計画の充実、指導法の改善が必要である。
- ⑦授業時数：当初予定の各教科の時数は十分に確保され、計画的に進められている。今後も学習進度や時数の確保など週ごとに点検を行い、確実に実施することが必要である。児童の困り感に応じた様々な課題に対応できる校内委員会を定期的で開催し、共通理解を図るとともに具体的な取組について話し合い、組織一体となって取り組んだ。
- ⑧生活指導：問題行動や生徒指導上の課題等について、校内委員会を通して共通理解を図りながら全職員で指導にあたってきた。教育相談も積極的に行い、情報の共有に努めてきた。基本的生活習慣の確立に向けた計画的・全校的な取組みの充実が求められる。
- ⑨学校行事：教育目標に照らし合わせ、ねらいや目的を定め、スリム化・効率化を図っていくことが大切である。今後、新指導要領の実施に向け、指導時数の増加が見込まれることから、具体的に検討していかなければならない。
- ⑩健康・安全：大縄跳び大会やマラソンなど全児童が協力して活動をするなどパワフルタイムの内容充実を図っていく必要がある。

◆旭小学校の教育目標に関する事項

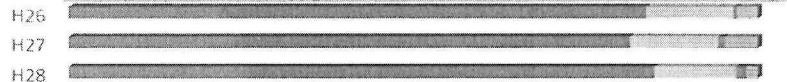
教育目標①＜進んで学習する子ども＞

【保護者】 A そう思う B 少しそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E よくわからない

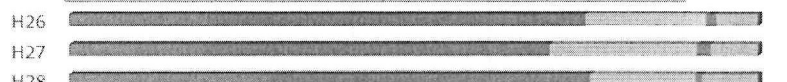
1. 自ら進んで学習する子どもたちに育ってきていると思う。



2. 「読み・書き・計算」などの基本的な力がついてきていると思う。

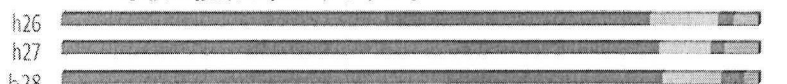


3. 子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。

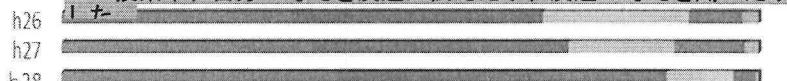


【児童】

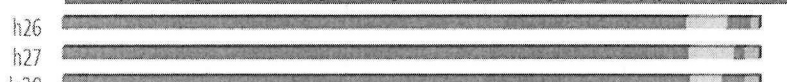
7. 学校の授業はわかりやすい。



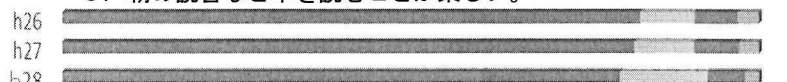
8. 授業中、自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたり



9. わからないことがあった時には、先生や友だちに聞くことができる



6. 朝の読書など本を読むことが楽しい。



【分析】

・どの項目もA・Bに回答する割合が増加している。今年度から取り組んだ「どの子にもわかる授業づくり」の研修の成果であり、また家庭と連携し取組によって、充実が図られた。「家庭学習の手引き」による家庭学習の定着が進んでいます。「進んで学習する子ども」という学校目標の実現に一歩ずつ近づいている。今後も、学校の取組みが家庭とリンクするためにも発信力の強化が求められています。

・「自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりする」と回答した児童が増えています。今年度の重点目標であり、こちらも研修で指導方法の工夫を行ってきました。ICTについても、考えを伝えあうツールとして取り組んできた成果とも言えます。「基本的な力がついてきている」では、微増の状況です。基礎基本の充実は、学力向上にとっても不可欠であり、放課後等の担任による個別指導、放課後サポート事業、長期休業中の「学びの広場」等を実施し、充実をさせてきました。また、昨年度から「学習規律の定着」を強化し、学びの姿勢についても学校統一して取り組んでいて、定着が図られてきました。落ち着いた環境で、基礎基本の充実を図ってきたことが、わかる授業へとつながってきています。

・「読書」でのAB評価が年々減少しています。家庭と連携した読書活動を強化していく必要があります。

【具体的な改善策】

- ・家庭学習の手引きを中心にその習慣化に取組み、重点週間を設け、検証させるサイクルを確立させる。
- ・より自主的な学習となるように家庭学習の内容の充実を図るとともに、各家庭と連携を強固にするために啓発に努める。
- ・基礎的・基本的な事項の習熟のため、チャレンジタイムによる朝学習、放課後や長期休業中などの学びの広場、チャレンジプリントの活用を継続して実施する。
- ・校内研修を核として、ユニバーサルデザイン型の授業改善に取り組む。
- ・授業評価の実施により、「わかった」「できた」と実感できるように授業改善を進める。
- ・日々の教材研究やICTの活用により教材・教具の工夫を行う。
- ・授業の様子などについて、学校ホームページや学級通信等を通して発信し、家庭と一体となって学習する子どもの育成を

保護者の皆様からいただいたご意見

意見①「スキー・スケートの両方を行う必要があるのでしょうか。」

⇒冬の北海道のスポーツを楽しむことを通して、寒さに負けない体力向上の取組を本校では進めています。それぞれの実施できる授業時数は限られていますが、それぞれの協会から外部講師を派遣していただき、少人数での充実した学習により、体力の向上・技術の向上が図られています。次年度も引き続き、2つの冬のスポーツを通じた体力向上に努めてまいりたいと思いますので、ご理解の程よろしくお願い致します。

意見②「長期休業中に実施している「学びの広場」の日数を増やすことはできないでしょうか。」

⇒旭小は、「学びの広場」に加え、学生のサポート学習を実施し、計10日間開催しています。その他のサポートについては、個別に教育相談を実施した上で、期間の延長等を行っています。これまで同様、学級担任と連携をとっていただきながら、学習の充実にも努めてまいりますので、お願い致します。

意見③既習事項の定着について不安があります。宿題等で確認していただけないでしょうか。

⇒学期末や学年末で、既習事項の定着度合を確認し、確かな学力を定着するため、授業時間や放課後など様々な機会を通して定着を図っています。ご心配な点は、教育相談としても個別に対応させていただきますので、担任に遠慮なくご連絡ください。

教育目標②＜思いやりのある子ども＞

【保護者】 A そう思う B 少しそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E よくわからない

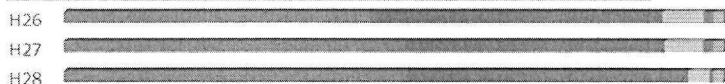
4. 思いやりのある心豊かな子どもたちが育ってきていると思う。



5. 学校の雰囲気がよく、子ども達は生き生きと生活している。

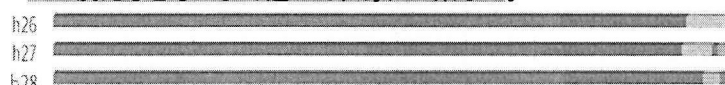


6. 子どもは、学校生活が楽しく友達もいると言っている。

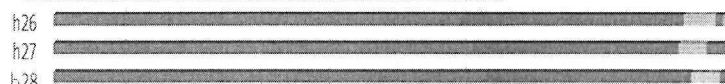


【児童】

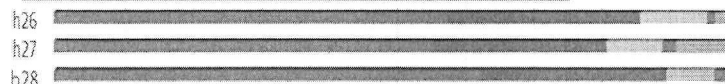
1. 友だちとなかよく遊べて、毎日が楽しい。



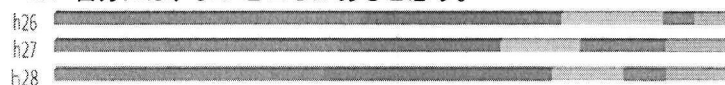
3. 友だちを大切にして、助け合っている。



4. 失敗した時は、先生や友だちが助けてくれる。



19. 自分には、よいところがあると思う。



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■A ■B ■C ■D ■E

【分 析】

- ・「思いやりのある心豊かな子」の目標達成のため、「道徳の時間」を核とした「心の教育の充実」を図り、また参観日での全学級授業公開などを通して、地域や保護者とともに、育成に努めてきた成果が表れています。児童評価についても、おおむね他者を大切に楽しく生活している様子がわかります。しかし、「そう思わない」と回答した少数の児童についても、特性に合わせたきめ細かな指導を今後も継続していくことが重要です。さらに、自己肯定感をもてるよう学校生活全体で、指導を強化していきます。自他の良さを認め合い、学級生活を送ることができるよう、教師の見取りを中心に、Q Uなどの資料を活用しながら、有効な手立てを講じ、自己肯定感がもてるような学校生活を送ることが大切です。
- ・今年度、いじめに関する調査を2度行い、8件をいじめとして認知しました。いじめ対策委員会を立ち上げ、保護者と連携しながら、組織的に解決にあたり、解消することができました。

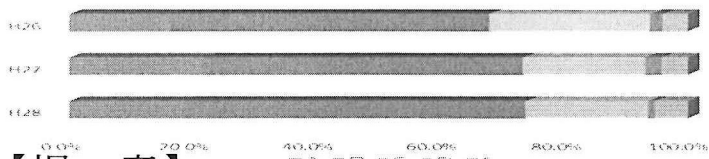
【具体的な改善策】

- ・教育相談やアンケート、日記などのあらゆる機会を通じて、児童を見取り、個々の児童の状況についての確に捉えるとともに、随時有効な手立てを工夫する。
- ・個々の良さを認める学級づくりを進め、自己有用感を味わえる様な声かけを行い、児童の自尊意識を高める。
- ・Q Uテストや児童理解支援システムツール「ほっと」を積極的に活用し、学級の中における児童の状況を客観的に捉えて、支援を必要としている児童に対して早急に有効な手立てを講じるとともに、児童同士の人間関係を良好なものとするような手立てを講じる。
- ・集団として必要なルール of 徹底を図ると共に、その中で一人一人の児童が安心して生活できる場となるよう学級経営の充実を図る。また、学級経営交流会を通して、支援が必要な児童について、全教職員の共通理解のもと、指導に当たる。
- ・いじめアンケートなどあらゆる取り組みを通して、いじめゼロの学校をめざす。その兆候や可能性のある事案が発生した場合には、組織的かつ速やかに解決に当たる。
- ・道徳教育の改善、体験的な学習、外部人材の活用など様々な学習活動の中で、心豊かな児童の育成を図る。

教育目標③＜進んではたらく子ども＞

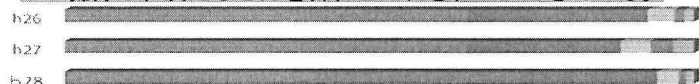
【保護者】 A そう思う B 少しそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E よくわからない

7. 自ら進んではたらく子どもたちに育ってきていると思う。



【児童】

11. 掃除は、友だちと力を合わせて、きれいにできている。



12. 学級の係活動や委員会活動は、積極的に取り組んでいる。



【分析】

- ・今年度で全教室の古いワックスの剥離作業が終了しました。その結果、清掃活動では達成感の味える活動が行えるようになり、高評価につながっています。
- ・冬期間の児童玄関ドアを閉めることができるなど全体のことを考えられる児童が増えてきました。普段の係活動や委員会活動等を中心に、進んで活動できる力の育成に引き続き取り組むことが大切です。

【具体的な改善策】

- ・遠足では、継続してゴミ拾いなどのボランティア活動を実施し、公共心・公德心の向上を図る。
- ・委員会活動を通して、自分たちが考えたことが形となる経験を積み、達成感を味わわせる事ができる機会を工夫し設定する。
- ・学級での当番活動や係活動などの中で、子ども達が頼りにされたり、褒められたりする経験が数多く出来るようにし、はたらくことに対しての意欲や意識を育てる工夫を継続する。
- ・各段階に合わせたボランティア活動について、これまでの活動を見直し、発達段階に合わせた取り組みに再構築する。

教育目標④＜自ら体をきたえる子ども＞

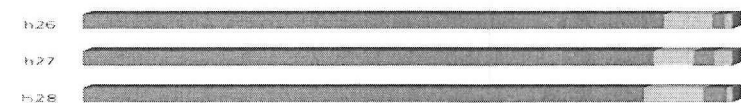
【保護者】 A そう思う B 少しそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E よくわからない

8. 体をきたえ、健康でたくましい子どもたちが育ってきている。



【児童】

20. 友だちと元気に遊んだり、運動に親しんだりしている。



【分析】

- ・どの項目も横ばいの状況です。旭小としての特徴は、寒さが厳しい中でも、下にいっぱい外で遊ぶ習慣があることです。引き続き、パワフルタイムの遊びや活動を通して、健やかな体づくりを推進する具体的な取組みを今後も続けてまいります。

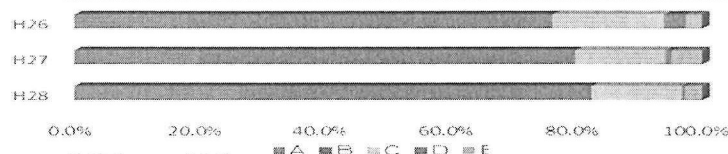
【具体的な改善策】

- ・パワフルタイムの有効的な活用を学級・学年が主体となって計画的に取り組む。
- ・全校児童が参加する体力テストや全校縄跳び大会を通して、運動する喜びや達成感を味わえる活動・機械を増やす。
- ・一人一人の児童に合わせた、健康な体作りのための体力作りの取り組みを継続する。特に運動不足となる冬季間については、スキーやスケートの推進を図り、寒さに負けない心身とも健やかな成長を実現する。
- ・各自の興味・関心を基にしたクラブ活動等の中で、自分の好きな運動等を見つける機会を設ける。

◆基本的な生活習慣の確立に関する事項

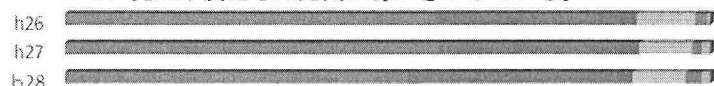
【保護者】 A そう思う B 少しそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E よくわからない

9. 子どもたちの挨拶など、基本的な生活習慣が育ってきていると思う。

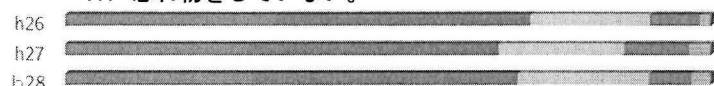


【児童】

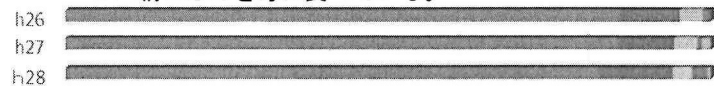
2. 先生や友だちに元気にあいさつしている。



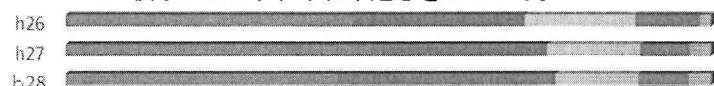
17. 忘れ物をしていない。



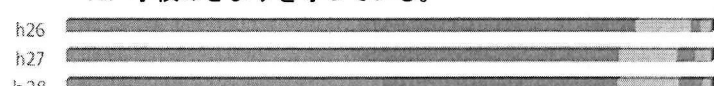
5. 朝ごはんを毎日食べている。



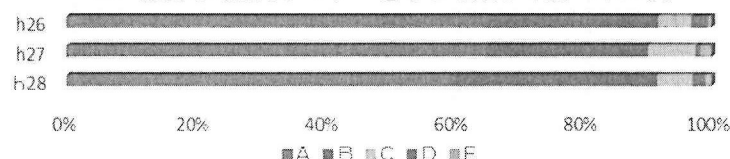
18. 夜ふかしせず、早ね早起きをしている。



15. 学校のきまりを守っている。



10. 給食の時間は、マナーを守って楽しく食べている。



【分析】

- ・今年度、旭小の中で重点として取り組んだのが、挨拶運動の取り組みです。スタンプカード等様々な仕掛けを委員会活動とリンクさせ、進めてきました。来客からも「旭小の児童の挨拶がすばらしい」と言ってくれたことも多く、挨拶運動が全体に広がってきていることを実感します。人とのつながりでは、挨拶はとても重要なことです。今後も学校体制をあげて取り組み、家庭と連携して進めてまいります。
- ・朝ごはんについては、ほぼ横ばいの状況です。学力向上のためにも規則的な生活習慣の確立は、大切なことです。生活リズムチェックシートの見直しを行い、今後も意識高揚のため家庭と一体となった取組が必要です。
- ・早寝・早起きでは、高学年になるほど遅い時間まで起きている傾向は変わりませんが、全体的には家庭でのルールを守って生活していることがよくわかります。

【具体的な改善策】

- ・子ども達の自発的活動でもある児童会活動での「あいさつ運動」をさらに広げていけるよう、学校全体で取り組みの強化を図るとともに、状況分析を行い、情報を共有し、取り組みを強化していく。また、家庭への協力も呼びかけ、推進を図る。
- ・子どもの生活リズムの向上を図るため、保護者へ向けて懇談会や学校便り、ホームページ等を通して今後も「早寝・早起き・朝ご飯」運動の啓発を行う。
- ・生活リズムチェックシートを活用して、児童自身が自分の生活習慣を考える取り組みを行う。
- ・基本的な生活習慣は、学校と家庭が共に協調した指導を行うことによって身につけていくものであることから、学校として具体的な提案や発信を各段階（学級・学年・学校）で積極的に行っていく。

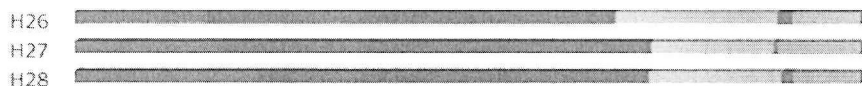
意見④「睡眠・食事等の基本的な生活習慣や学級内・校内の整理整頓などの学習環境、学習規律（挨拶他）を整えることが、学力向上には欠かせないと感じます。今後とも子ども達へのご指導をよろしくお願いします。」

⇒児童に「知・徳・体」のバランスの取れた成長が図られるよう総合的に取組を行ってまいります。

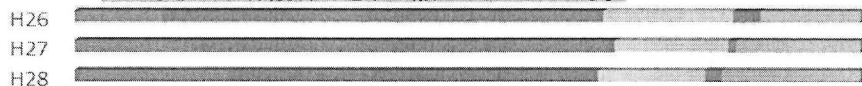
◆信頼される開かれた学校づくりに関する事項

【保護者】 A そう思う B 少しそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E よくわからない

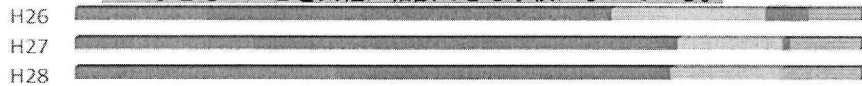
10. 学校は、教育方針や教育活動をわかりやすく伝えている。



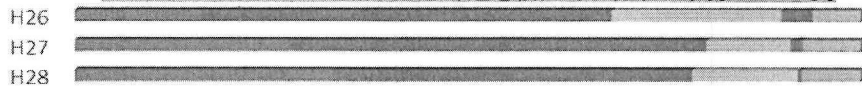
11. 学校は、保護者や地域の願いに応えている。



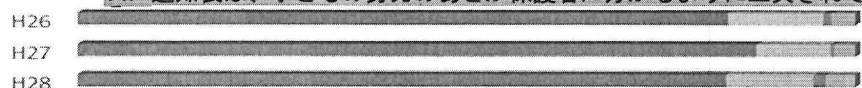
12. 子どものことを気軽に相談できる学校になっている。



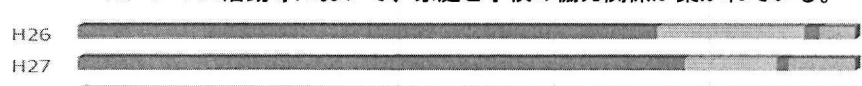
13. 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行うよう努めている。



14. 通知表は、子どもの努力のあとが保護者に分かるように工夫されている。



15. PTA活動等において、家庭と学校の協力関係が築かれている。



【分 析】

・どの項目もポイントの上昇が見られます。4月の全校参観日での全体懇談に始まり、各段階で教育方針や教育内容が保護者に伝わるよう努めてきました。さらに、学校便りやホームページ等で情報の発信力を高めてきました。お便りはカラー化が実現し、よりお伝えしやすい環境が整いました。重要なことは、保護者の皆様の連携し、子ども達を成長させることです。意思疎通がより強固に図れるよう体制づくりも強化しなければなりません。また個のニーズに応じた教育相談を積極的に実施してきたことが、意思疎通がはかれた要因にもなっています。

【具体的な改善策】

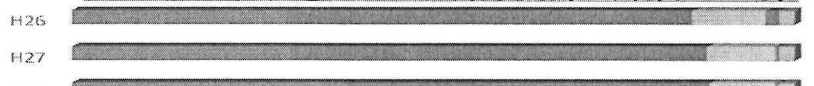
- ・学級担任と保護者間の信頼関係を築くため、要望や意見には誠意ある対応を心がけると共に、子ども達の様子や状況を積極的に発信していく。そのため、学級通信を定期的に発行するなど、クラスの様子や教師の考えを伝える。
- ・参観日のあとの懇談の他、家庭訪問期間以外で、必要に応じて個別懇談の機会を設ける。
- ・児童や保護者の必要に応じ、積極的に教育相談を開催し、学校全体での取り組みとする。

意見⑤私は、旭小の雰囲気や、先生と保護者のそれぞれの役割の持たせ方、子ども達への個別の学習指導など、すごくよい学校だといつも感謝しています。

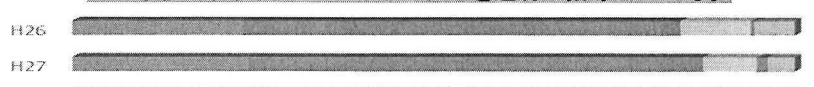
◆教育内容に関する事項

【保護者】

16. 運動会や学芸会をはじめとする各学校行事は、充実している。



17. 学校は、社会のルールやマナーを適切に指導している。



【分 析】

- ・学校行事については、A評価が増加しています。一人一人が輝くよう創意・工夫を行い、行事の改善に努めることが大切です。
- ・社会のルールやマナーについても、A評価が増加しています。最近では、インターネットモラルの重要性もあり、これらも含めて継続した取り組みを続けることが大切です。

【具体的な改善策】

- ・各種行事について、教育課程全体の中でのバランスを考慮し、目的を全体で共有し、ねらい達成のために工夫改善を図りながら計画する。
- ・社会のルールやマナーは一朝一夕には身につかないことから、全体として発達段階に即して身に付けるべきルールを確認し、関係機関とも連携しながら継続して指導する。

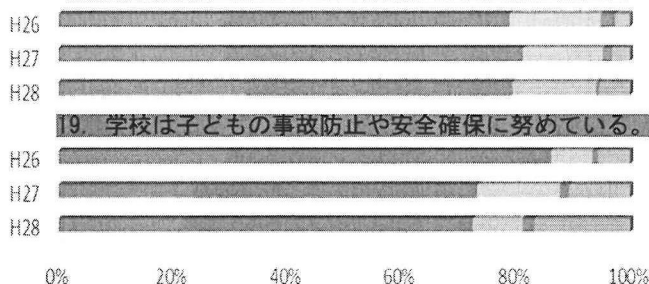
意見⑥「次年度の運動会の日程」について（複数意見）

→子ども達にとって学習効果が上がる方法を探る一つとして、運動会の土曜日の開催についてこれまで保護者や地域の皆様、関係機関と協議してきました。土曜日に運動会を実施することで、学びの連続性や雨天時の対応等の観点で、子ども達にとって、よりよい発表の場となると考え、H29年度は、6月3日（土）に開催をさせていただくこととなりました。仕事の都合で保護者が観覧できないなど、学校としてできることはこれまで同様行っていくしますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

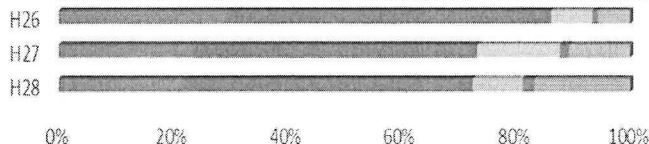
◆教育環境に関する事項

【保護者】 A そう思う B 少しそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E よくわからない

18. 校内はいつも整理されていて、きれいである。



19. 学校は子どもの事故防止や安全確保に努めている。



【分 析】

環境美化に関しては、古いワックスの間にいった汚れが目立ち、児童の清掃活動にも力が入らなかった懸案事項が解決でき、高評価につながりました。引き続き計画的に、子どもが学校生活を明るく送れる環境整備に努めていかなければなりません。

子どもの事故防止と安全確保については、生命に関することから日常的な点検を引き続き強化し、安心安全な教育環境づくりに努めていく必要があります。

【具体的な改善策】

- ・教育環境として、児童が気持ちよく学習できるよう常に整理整頓を心がけるとともに、定期的に点検を行い改善に努める。
- ・事故防止・安全確保のために、月に1度の安全点検日を設け、校舎内外の施設設備を点検する。

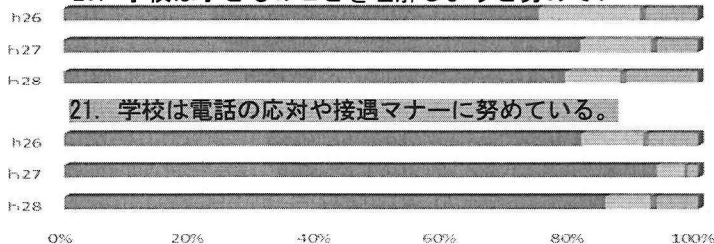
意見⑦「インフルエンザの流行に対しての対策がなされていないと感じます。学校全体で取り組む必要はありませんか」

→ご意見をいただき、さっそく教室の温度・湿度調査を行いました。その結果、学校全体の対策として、インフルエンザの流行時期は20分休み、昼休みの2回窓を開けて換気を行うこと、濡れタオルを教室に設置し、湿度の上昇を図ることを行いました。

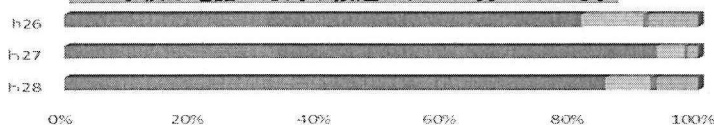
◆教職員に関する事項

【保護者】 A そう思う B 少しそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E よくわからない

20. 学校は子どものことを理解しようと努めている。



21. 学校は電話の応対や接遇マナーに努めている。



【分 析】

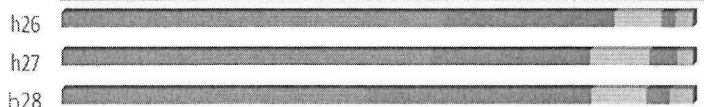
・子どもの理解に関しては、一人一人の子どもを大切にしたい指導をするためにも下位または不明の評価がなくなるよう努力することが大切である。密な連携が必要である。

・接遇マナーについても、評価が上がっていますが、保護者・地域との信頼関係にもつながることから、今後ともマナーの向上に努め、保護者・地域とともに歩む学校づくりを推進していかなければなりません。

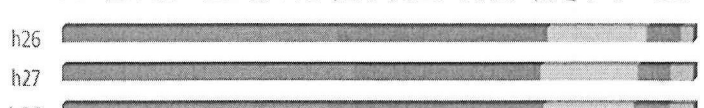
・日常的に児童の良さを認め、自己肯定感がもてるような指導を強化していくことが大切です。

【児 童】

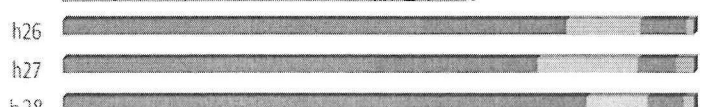
13. 自分が頑張っていることをみとめてもらえて、やる気が出る。



14. 困ったことがあった時は、先生に気軽に話をすることができる。



16. 担任の先生以外ともよく話をする。



意見⑧担任に恵まれていて、楽しい学校生活を送っています

意見⑨担任の先生に、子どものことで友達関係での悩みを相談したところ、子どもへの対応、アドバイス等をいただき、とてもすっきりした気持ちで子どもが帰ってきました。また、養教の先生にも相談しても、子どもも親もとても安心できる返事をいただき、心強く思いました。

意見⑩子どものことをとてもよく見ていて、気になることがあると、こちらに聞いてきたり、学校の様子を教えくれたりと、学校でのことが聞けて、とても良いと思います。相談事も、しっかり聞いてくださり、アドバイスをしていただき、とても参考になりました。

→子どもの成長を第一に考え、今後も保護者の皆様と連携を図りながら進めてまいります。

意見⑪夜学校へ行ったとき、廊下で会う先生方があまり挨拶しないことに驚きました。

意見⑫子どもを通じての話なのでわかりませんが、担任の先生の言葉遣いが気になることがあります。

→大変失礼致しました。職員への指導を徹底してまいります。

【具体的な改善策】

- ・ Q Uテストや児童理解支援システム「ほっと」を利用し、学級の中における児童の状況を客観的に理解するなど、児童理解に努める学級づくりを推進していく。
- ・ 教師による見取り以外の方法（児童アンケート、日記、面談等）も使い、より多面的に児童の状況を理解するよう努める。

Ⅲ 学校関係者評価（評議員会）について

地域の方々が学校運営に参画し、「開かれた学校づくり」を推進するために本校では地域の有識者 4 名に学校評議員をお願いしています。校長が行う学校運営に関して様々なご意見をいただき、学校改善に努めています。本年度は、6 月 21 日、3 月 1 日の合計 2 回実施しました。

1、学校運営について

- 美幌町として独自に取り組んでいる 3 年生以上の 35 人学級や、今年度から配置された教育支援員、指導方法工夫改善加配が 2 名、さらには授業改善推進チームの実施などの定数の増加に伴い、きめ細やかな指導ができる様子が理解できた。このニーズに応じた指導を次年度以降も行っていきたい。
- 職員室内の雰囲気良さが伝わってくる。チーム一丸となって、教育目標の実現が図られていっているのが実感できる。保護者の願いを含めて、地域を巻き込んだ教育活動を校長のリーダーシップのもと展開してもらいたい。
- 卒・入学式での国旗・国歌については、適正に実施されている。国歌の指導がしっかりとなされ、児童が元気よく斉唱していたのは評価できる。

2、学習指導について

- 体力向上に関わっては、基本的な生活習慣との関係が強いことから、保護者にも問題提起をしながら、課題解決に当たってほしい。また昨年度から継続して実施している体力向上パートナーシップ事業を生かし、日常の体育授業改善にも努めてほしい。
- 学力向上については、家庭での学習時間に課題がある。学校でできること、家庭でできることを整理し、連携した取り組みが必要である。
- 読書活動の推進に向けて、学校と家庭の両面からの取り組みの強化が望まれる。書くことや読むことが少ない時代となっているが、学力向上ともつながっているのではないかと。

3、生徒指導について

- いじめ問題では、迅速に組織的に課題解決に当たってもらっている。今後も保護者・地域と連携しながら児童が安心できる学校づくりを行ってもらいたい。
- スマホに対しては、PTA の研修会で取り扱うなど、問題提起を学校として積極的に行ってもらっている。人と人が顔を合わせて、人間関係を構築していく必要性を強く感じる。